

暮らしの安心プロジェクト(薬局版)

岸和田市でも高齢者のお1人暮らしの方が年々増加しています。平成24年の調査では1年間に病院で1530人(77%)、自宅で326人(16%)の方が亡くなられていましたが、自宅で亡くなられた方のうち警察が関わったケースが6割近くありました。こうしたことを少しでも減らし、お一人で苦しんでいた、倒れていた、あるいは出来ただけ早く発見して対応できればと思います。

岸和田市では、少しでも安心して暮らしていただけるように、通院が困難な方への24時間対応の在宅訪問診療を進めるとともに、高齢や独居の患者さんでご希望される方に、「暮らしの安心プロジェクト」を考えました。この活動は、医師会を中心として他の施設が協力する形で行っていますが、薬局としての取り組みのあらましを次にお示しいたしますので、ご理解いただき、ご希望の方は是非お申し込みください。

「暮らしの安心プロジェクト(薬局版)」のあらまし

(1)独居の方を中心として、一定の間隔で薬局側から安否確認のお電話をさせていただきます。お電話をさせていただく頻度、時間帯はそれぞれご都合をお伺いしながら相談して決めさせていただきます。

(2)もし、約束の日時に連絡がつかなかった時には、あらかじめ決めておいた第2の連絡先がある方には、そこにお電話をします。

(3)もし、どちらの連絡先にかけても連絡がつかなかった時には、地域包括支援センターに連絡をしてご自宅に訪問してもらい、安否確認をさせていただきます。

(4)この活動は、岸和田市内で下に示します「健康介護まちかど相談薬局」の看板を掲げている薬局で行っています。ただし、岸和田市以外の薬局ではこの看板を掲げても活動を行っていませんのでご注意ください。



健康介護まちかど相談薬局

※ あらかじめご理解いただきたいこと



事前に打ち合わせて
いた日時に電話



連絡がつかなければ
地域包括支援センター
から訪問

(1)このプロジェクトは、少しでも安心して暮らせる町をつくるために、岸和田市医師会、岸和田市薬剤師会や地域包括支援センターなどがボランティア的に行なうものであり、申し込まれた方の安全を保障できるものではありません。

(2)お名前、ご住所、連絡先などいただいた情報は医療機関や薬局と連絡する地域包括支援センターなどとの間で安否確認のため共有することは必要ですが、他のことには使用いたしません。

(3)地域包括支援センターの訪問は、土曜、日曜、祝日と夜間に対応できません。また、夜では翌日の朝以降、週末では翌週月曜の朝以降の対応となりますのでご理解いただきたくお願い申し上げます。

岸和田市医師会 ・ 岸和田市薬剤師会 ・ 岸和田市地域包括支援センター

※ お名前、住所、ご連絡先など、いただいた情報は医療機関と連携する地域包括支援センターや行政などとの間で安否確認のため共有することが必要ですが、他のことには使用いたしません。また、安否確認時に必要性があった場合は、「申し込まれた方が救急搬送されているか」、「救急搬送された病院名」などの個人情報についても、岸和田市消防本部より、関係機関に対して情報提供する場合があります。

「暮らしの安心プロジェクト(薬局版)」申し込み用紙

「暮らしの安心プロジェクト(薬局版)」の趣旨を了解して申し込みます。

平成 年 月 日

お名前		ふりがな	
生年月日	大正・昭和 年 月 日	年 齢	歳
住 所			
電話番号		携帯電話番号	

第2連絡先

お名前		ふりがな	
ご関係			
住 所			
電話番号		携帯電話番号	

その他の見守り(ヘルパー訪問、デイサービス利用などの曜日、頻度、ケアマネージャー など)

薬局名 ・ 安否確認担当地域包括支援センター

薬局名		薬剤師名	
住所		TEL FAX	TEL : FAX :
担当地域包括 支援センター		圏域	
住所		TEL FAX	TEL : FAX :

岸和田市消防本部が個人情報に関係機関に対して提供することに、

同意します

趣旨を十分に理解したうえで、同意しません